

せんぼ通信 No.98

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「痛み」

昔、急に右足が眠れない程痛み出し、整形外科で良くならず、1週間後、赤いボツボツが出てきて、皮膚科へ行ったら、帯状疱疹…と。

最初の1週間は神経痛のズキーンズキーン…ボツボツの炎症中は、ヤケドのようなジリジリ…ボツボツの治りかけは、電気のようなピリピリ…一つの病気で三つの痛みを経験しました。

痛みを表す言葉は、日本語だけでも60くらいあるそうで、自分しかわからない痛みを、うまく医師に伝えることが、病気の発見と治療のため大事なことだそうです。

炎症中 ガンガン・ズキズキ・ウズウズ・ギシギシ・ジンジン・ゴリゴリ・キリキリ…

神経痛 ズキンズキン・ビリビリ・ズーンズーン・チクチク・ピリピリ・ジーンジーン…

叩かれたような痛み…重石があるような痛み…針で刺されたような痛み…心臓が頭にいったような痛み…経験者だったら、陣痛のような痛み…とかいろいろあります。

慢性でも急性でも…どんな痛みか、うまく医師に伝えられたらいいですよね。

寒さに向かう季節…どうぞ大事に…。

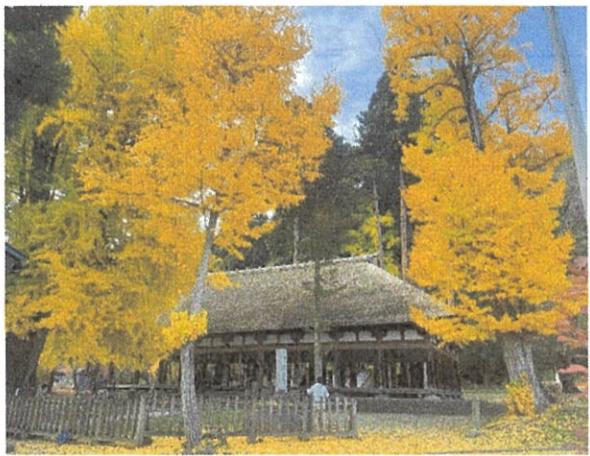
「2年生の娘が熱でて、検査したらコロナって。下の子も奥さんも次々陽性に。僕は陰性だったんですけど10日間自宅待機で、今日やっと出てきました」。 そうだったのね…でも子供さんたち軽症で良かった…。

「2歳半の息子が熱でて、検査したらコロナって。 小さい子には何言っても無理だから、家族全員かかつて、10日ぶりで今日出てきたの」。 そんな小さくて…重症にならなくて良かったね…心配だったね。

今は、陽性でも「自宅療養」みたいですが、急変した時の救急医療…大丈夫ですか…？

外国人の爆買い…旅行支援…笑顔のニュースで良い事だけど、医療の皆さん…大丈夫ですか…？

うれしい人…そうでない人の差が少ない方が良いので…。



新宮熊野神社・長床

写真・幸雄

やっぱり秋ですかね…涙が…

閉校になって2年半の栃山神小学校…時々車の中からながめていたけど、久々に校庭をあるいてみた。

青い空…愛宕神社の方からわたる風の音…

黄葉のイチョウの木…そして、鉄棒…シーソー…

すべり台の方へ歩いたら…突然頭の中に、

小さかった孫たちの楽しそうに遊ぶ声…運動会で頑張ってた先生の声がでてきて…ウルウル…。

家で、夫と孫に話していたらまたウルウル…。

「ばあやはね…認知症のはじまり!!…」と夫が。

(いやいや…涙は心のビタミン剤だべ…)

涙ぐむ人をハグして背をなでる
重き介護のはじまり聞いて